

スナック菓子の包装シーリング用途

シーリング工程の圧力を可視化して
シール不良を減らし品質向上を実現。
標準検査ツールとして全工場に展開へ



Fuji Digital Analysis System
for Prescale FPD-8010E

Pressure Measurement Film
PRESCALE



Case Study 01

Their introduction



Intersnack
Knabber-Gebäck GmbH & Co. KG



Intersnack

- 設立: 2008年
- 従業員数: 8,500
- 売上高: 25億(2015年)
- 製品: ポテトチップス、ナッツ、焼き菓子類、その他スナック菓子
- ウェブページ: <http://www.intersnack.com>
- 業種: 食品メーカー



Interview was done with



トン・タンケ氏
グループ統括包装担当
Intersnack Group GmbH & Co. KG

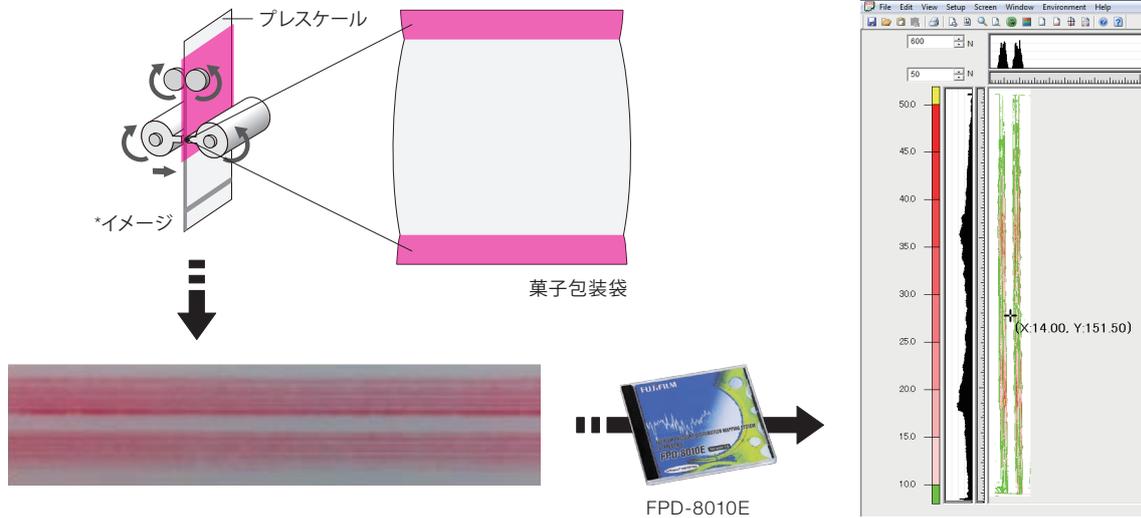
グループ全11社の包装業務を統括管理

プレスケールを導入した理由

- 最大の課題はシールバーの圧力測定方法でした。プレスケールの導入でシーリング圧力を可視化することができました。
- トラブル対応も簡単迅速にできるようになりました。
- 検査回数が少なくなりセットアップ時間も短縮したため、機械の停止時間が減少しました。
- 処理圧力が低減し処理効率が向上したため、機械の寿命が延びました。
- シール不良が減少し、製品の品質向上につながりました。

プレスケールをどのように使用していますか？

1. プレスケールのフィルム（低圧用LW又は中圧用MS）をシールバーの間に挟みます。
2. 画像解析ソフトウェア FPD-8010E でフィルムをスキャンし、加圧状態を読み取ります。



解析結果

大いに有益 - 工程稼働状態のまま測定が可能になり、シール機のクールダウンが不要になりました。

プレスケールを使用してどのような効果がありましたか？

- ・ シールの完全性（密閉性）が向上しました。
- ・ 処理圧力が低減し処理効率が向上したため、機械の寿命が延びました。
- ・ シール不良が減少し、製品の品質向上につながりました。
- ・ 欧州全グループ会社の全工程を標準化することができました。
- ・ 全供給者への要求仕様を統一することができました。
- ・ 解析結果と測定業務の全ての内容を文書化することができます

今後の活用予定についてお聞かせ下さい

システムを全工場で購入・導入することが決定しました。